

総額2,275億6,000万円の令和8年度一般会計当初予算を可決

〈主な新規・拡大事業等〉

●平和・観光魅力発信事業費

アメリカの主要メディア「New York Times」電子版の「2026年に訪れるべき52か所」に長崎市が選定されたことを契機に、平和を切り口としてより深く、幅広く長崎の平和と観光の魅力の発信を行うことで、認知度向上を図り、欧米豪からのインバウンドの増加と消費の拡大を図る。

●妊娠期・乳児期家事代行サービス事業費

妊婦がいる家庭及び乳児を養育する家庭を対象に、妊娠期から乳児が1歳の誕生日を迎える前日までの間、最大6回を上限に家事代行サービスにかかる費用を助成する。
(自己負担額 500円/回、1回2時間程度)

●こどもインフルエンザ予防接種費

こどもの季節性インフルエンザ予防接種に要する費用の一部を助成することにより、こどもの疾病の発症、重症化及びまん延を防止するとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減するもの。令和8年度から助成対象者を中学生まで拡大して実施する。

対象者：生後6か月～中学生

●学びの多様化推進費

不登校児童生徒の多様な教育機会を確保するため、特別な教育課程を編成した「学びの多様化学校(桜馬場中学校分教室『のぞみ教室』)」を令和8年4月に開設する。

●若年者雇用促進費

若年者の地元就職・定着を図るため、地元企業の情報や長崎で暮らす魅力を発信するなど、企業の積極的な採用活動を支援する。

●GX推進事業費

地場事業者の産業競争力強化を図るため、啓発セミナーにより市内企業内でのGXによる脱炭素経営の認知や理解を促進し機運醸成を図るとともに、伴走支援により脱炭素経営に取り組むリーディング企業を創出する。

●指定避難所等空調設備整備計画策定費

指定避難所等(市立学校屋内運動場)への空調設備導入に向けた基本設計を作成するため、指定避難所等空調設備整備計画を策定する。

当初予算の詳細はこちら▶

